

3年生の動きを見ていると、学校のリーダーなんだなぁと思うことがたくさんある。2年生を見ていると学校のフォロワーなんだなぁと思う。1年生を見ていると、ちょっとそわそわしながら、あたらしい環境に頑張っについて行こうという初々しさがよくわかる▼そんな1年生も徐々に素を出し始めている。その一つが「挨拶」である。2・3年生は、全体的によく挨拶してくれる。すれ違う先生方にもよく声をかけている。教師もそうだ▼朝、休み時間、教室に負けないほどの広さの廊下のあちらこちらで、子どもと教師が挨拶を交わしている姿をよく見かける。1年生は、この流れにまだまだ乗っていけない▼決して悪いことではない。1年学年団は、この事実をしっかりと分かっている。少しざっぱな言い方をすれば、これが発達段階の違いでもある。この1年生の子たちも秋ごろになれば、挨拶ができるようになる。▼先輩や教師はそのローモデルになる。小学生は、知らない人には挨拶しない子が多い。話が変わるが、義務教育学校では、1234年を前期、56中1を中期、中23を後期と分けて考えているが、挨拶もそうだ▼中学校1年生には、越えなければならない段差が用意されている。中1ギャップと呼ばれているが、小6→中1の段差ではなく、中1→中2の段差ではないかと考えている。1年生のみなさん、みんなで超えますよ。挨拶身言規挑の挨拶。